

# WHO ファクトシート

## ペスト

### Plague

2017年4月

#### 重要な事実

- ・ペストは、通常小動物やそれに付随するノミの中で発見される人獣共通感染細菌の一つであるペスト菌によって引き起こされる。
- ・ペストに感染した人々は、1～7日の潜伏期間の後に、「インフルエンザ様」の症状で発症する。
- ・ペスト感染には主要な臨床のタイプが、腺ペストと肺ペストの2つがある。腺ペストが最も一般的で、リンパ節の腫れと痛み又は「横痃(そ径部リンパ節腫大)」が特徴である。
- ・ペストは、治療せず放置すれば致死率が30%～60%にのぼり、極めて重篤になることのある疾病である。
- ・2010～2015年の間に全世界で3248例が報告され、584人が亡くなっている。
- ・現在、最も流行している3カ国は、マダガスカル、コンゴ民主共和国及びペルーである。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Plague                      ファクトシート原文は [こちら](#)